

【問題1】人体の構成・細胞について、誤っているのはどれか。

- 1 いわゆる「気をつけ」の姿勢から手のひらを前方に向けた状態を解剖学的正位という。
- 2 体を左右に等分する面（左右相称に分ける面）を正中面という。
- 3 特定の細胞が集まって、ある機能を持った集団を器官という。
- 4 細胞の核の中には、核小体と染色質（クロマチン）が存在する。

【問題2】骨格系について、誤っているのはどれか。

- 1 骨は、^{こつが}骨芽細胞により新生する。
- 2 人体の椎骨は、^{ついでこつ}頸椎・^{けいつい}胸椎・^{きょうつい}腰椎・^{ようつい}仙椎・^{せんつい}尾椎の順で重なっている。
- 3 関節をつくる2つの骨の端は、^{かんせつとう}関節頭と^{かんせつか}関節窩から成る。
- 4 ^{とうがい}頭蓋のトルコ ^{あん（ぐら）}鞍には小脳が入る。

【問題3】筋系について、誤っているのはどれか。

- 1 外腹壁（側腹壁）をつくる筋は、外から外腹斜筋、内腹斜筋、^{ふくおうきん}腹横筋の順である。
- 2 大腿四頭筋の腱をたたくと、下腿がはね上がるのが、^{しつがいけんはんしゃ}膝蓋腱反射である。
- 3 筋が収縮を繰り返すと筋疲労が起こり、ブドウ糖が蓄積する。
- 4 筋頭が骨に付着する場所を^{きし}起始という。

【問題4】感覚系について、誤っているのはどれか。

- 1 ^{こまく}鼓膜は、中耳と内耳の境にある。
- 2 味は、^{みらい}舌の味蕾にある^み味細胞により感じる。
- 3 鼻腔上部には、^{きゅう}嗅粘膜（^{きゅう}嗅上皮）がある。
- 4 近視では、網膜の前方で像を結ぶ。

【問題5】循環器系について、誤っているのはどれか。

- 1 肺動脈は、右心室から出て静脈血を肺に送る。
- 2 ^{かん}冠状静脈は、心臓に酸素と栄養素を与えている。
- 3 胃・腸・^{ひぞう}脾臓・^{ひぞう}膵臓からの静脈は、合流して門脈になる。
- 4 胸管は、左静脈角に合流する。

【問題 6】消化器系について、誤っているのはどれか。

- 1 胃は、頭側から噴門・胃底・胃体・幽門部・幽門の順になっている。
- 2 小腸は、十二指腸・空腸・回腸の順になっている。
- 3 大腸は、盲腸・横行結腸・上行結腸・下行結腸・S状結腸・直腸の順になっている。
- 4 肝門には、肝動脈・肝管・門脈が出入りしている。

【問題 7】ホルモンとその作用を示す組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 副甲状腺ホルモン（上皮小体ホルモン）—— 血清カルシウム（血清 Ca^{2+} ）濃度の調節
- 2 カルシトニン —— 消化液の分泌
- 3 アドレナリン —— 心臓機能亢進（頻脈、血圧上昇）
- 4 グルカゴン —— 血糖上昇

【問題 8】神経系について、誤っているのはどれか。

- 1 脊髄神経は、前根と後根に分かれる。
- 2 延髄は、生命維持に極めて関係が深い。
- 3 小脳は、体位の平衡や運動および姿勢の制御に関係する。
- 4 脊髄反射は、大脳の反射中枢が関与している。

【問題 9】血液系について、誤っているのはどれか。

- 1 成人の赤血球は、肝臓あるいは脾臓で作られる。
- 2 白血球は、炎症性疾患で増加する。
- 3 血小板は、血液凝固に重要な役割を果たす。
- 4 通常、ヒトの血液型は、A B O型と R h型で示される。

【問題 10】食事療法の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 うっ血性心疾患 —— 減塩食
- 2 慢性膵炎 —— 炭水化物制限
- 3 肥満症 —— エネルギー制限
- 4 痛風（高尿酸血症） —— 多量の水分摂取

【問題 11】膵臓から分泌される物質について、誤っているのはどれか。

- 1 アミラーゼ
- 2 インスリン
- 3 リパーゼ
- 4 ガストリン

【問題 12】特殊栄養法について、誤っているのはどれか。

- 1 意識障害による経口摂取不能の場合は、経管栄養が考慮される。
- 2 経腸栄養法の副作用に、腹部膨満がある。
- 3 腸閉塞がみられる場合は、経腸栄養法が適応になる。
- 4 長期静脈栄養が必要な場合には、微量元素（微量栄養素）の欠乏に注意する。

【問題 13】次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 抗アレルギー薬は、効果発現まで時間を要する。
- 2 抗インフルエンザウイルス薬は、症状発現から 2 日（48 時間）以内に使用する。
- 3 速効性インスリン製剤は、食前 30 分前に注射する。
- 4 抗てんかん薬は、発作時に服用する。

【問題 14】薬剤と発生しやすい副作用の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 アミノグリコシド系抗生物質 — 聴神経障害
- 2 ドキソルビシン — 心毒性
- 3 アンドロゲン — 子宮体がんの発症
- 4 アトロピン — 眼圧上昇

【問題 15】薬物療法時の看護師の役割について、適切でないのはどれか。

- 1 抗血栓薬の副作用として出血があることを指導する。
- 2 抗悪性腫瘍薬を投与する前は、一人で責任を持って、種類・投与量・投与経路を確認する。
- 3 点滴静脈内注射では、血管外への漏れが生じないように定期的に刺入部を観察する。
- 4 薬物アレルギー予防のために問診を十分行う。

【問題 16】炎症について、誤っているのはどれか。

- 1 炎症とは、生体に有害な刺激が加わった場合に、それを除去しようとして起こす防御反応である。
- 2 炎症の5徴候とは、発赤・腫脹・局所の発熱（灼熱）・疼痛・機能障害である。
- 3 マクロファージの主な働きは、抗体を産生することである。
- 4 炎症が治癒する過程で、肉芽や瘢痕が生じることがある。

【問題 17】体液循環の異常について、誤っているのはどれか。

- 1 ショックとは、主要臓器への有効血液量が減少し、臓器の機能不全を起こす状態である。
- 2 うっ血とは、静脈血の流れがとどこおった状態である。
- 3 虚血とは、動脈の血液量が減少した状態である。
- 4 浮腫とは、間質液（組織液）が減少した状態である。

【問題 18】循環器疾患と病態の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 先天性心奇形 ———— チアノーゼ
- 2 心筋症 ———— 冠状動脈の閉塞
- 3 エコノミークラス症候群 — 下肢静脈血栓
- 4 川崎病 ———— 血管炎

【問題 19】血液・造血器疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 鉄欠乏性貧血は、若い女性に多くみられる。
- 2 悪性リンパ腫は、HTLV-1ウイルスの感染により生じる。
- 3 白血病は、腫瘍細胞の特徴によって急性と慢性に分けられる。
- 4 悪性貧血は、ビタミンB₁₂や葉酸の不足により生じる。

【問題 20】脳・神経疾患の病態について、誤っているのはどれか。

- 1 神経膠腫（グリオーマ）は、脳腫瘍のなかで最も頻度が高い。
- 2 アルツハイマー病は、大脳皮質の神経細胞の変性によって認知症を生じる。
- 3 硬膜下血腫は、硬膜とクモ膜との間にできた血腫である。
- 4 脳梗塞は、頭蓋内圧亢進症状をきたすことが多い。

【問題 21】 尿路・生殖器の疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 膀胱がんは、高齢の女性に多い。
- 2 前立腺がんは、前立腺特異抗原（P S A）が高値になる。
- 3 子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（H P V）感染と関連がある。
- 4 子宮内膜症は、月経痛の原因となる。

【問題 22】 グラム陰性桿菌について、正しいのはどれか。

- 1 クラミジア
- 2 赤痢菌
- 3 淋菌
- 4 結核菌

【問題 23】 消毒薬と副作用の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 消毒用エタノール ————— 皮膚脱脂作用
- 2 ホルムアルデヒド（ホルマリン） ———— 強い刺激臭
- 3 グルタルアルデヒド（グルタラル） —— 毒性が強く人体には禁忌
- 4 ポビドンヨード（イソジン） ————— 強い皮膚刺激性

【問題 24】 ワクチンとその種類の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 水痘ワクチン ————— 生ワクチン
- 2 B C G ワクチン ———— 死菌ワクチン
- 3 麻疹ワクチン ————— 不活化ウイルスワクチン
- 4 B 型肝炎ワクチン —— 生ワクチン

【問題 25】 患者に治療の説明を行う際の看護師の対応について、適切なのはどれか。

- 1 社会における治療の重要性を強調する。
- 2 治療の参加に同意するように勧める。
- 3 同意の撤回はいつでもできることを説明する。
- 4 患者の感情に触れる話は避ける。

【問題 26】看護師の責務について、適切でないのはどれか。

- 1 研究よりも経験で技術力を高める。
- 2 個人の責任において継続学習をする。
- 3 原則として、患者の同意を得てから第三者に情報提供する。
- 4 個人としての品行を常に高く維持する。

【問題 27】カウンセリングをする看護師の態度について、適切なのはどれか。

- 1 自己一致とは、一貫した態度を示すことである。
- 2 無条件の尊重とは、一般的な価値観を尊重することである。
- 3 共感的理解とは、相手の感情をそのまま感じようとするすることである。
- 4 受容とは、相手の行動のよしあしを判断することである。

【問題 28】キューブラー＝ロスの終末期の心理について、適切でないのはどれか。

- 1 否認は、何かの間違いだと思ふ状態をいう。
- 2 取り引きは、何かをすれば死から免れるのではないかと逃避的な状態をいう。
- 3 抑うつは、死を免れないことに対して恨みが表面化した状態をいう。
- 4 受容は、今の状況を受け入れると同時に、自分自身を客観的に見ることができる状態をいう。

【問題 29】ストレスについて、適切でないのはどれか。

- 1 セリエ（Selye）によって提唱された概念である。
- 2 ストレスの生理学的反応は、警告反応期・抵抗期・^{ひはい}疲憊期の3つの段階に分けられる。
- 3 反ショック相では、血圧が低下する。
- 4 対処行動をコーピングという。

【問題 30】2009 年「人口動態統計」における年齢階層別にみた死因について、誤っているのはどれか。

- 1 0 歳児の死因の第 1 位は、先天異常である。
- 2 幼児期から学童期は、不慮の事故の死亡率が高い。
- 3 青年期の死因の第 1 位は、自殺である。
- 4 75 歳以上の死因の第 1 位は、肺炎である。

【問題 31】 2 類感染症について、誤っているのはどれか。

- 1 腸管出血性大腸菌感染症
- 2 重症急性呼吸器症候群（SARS）
- 3 鳥インフルエンザ（H5N1）
- 4 結核

【問題 32】 看護職員の業務従事者届の届先について、正しいのはどれか。

- 1 厚生労働大臣
- 2 都道府県知事
- 3 市町村長
- 4 日本看護協会長

【問題 33】 労働基準法における妊産婦等への対応について、誤っているのはどれか。

- 1 単胎妊娠の妊婦の請求に基づく産前 8 週間の休業
- 2 妊産婦の請求による深夜業の禁止
- 3 妊産婦の請求による時間外労働の禁止
- 4 生後 1 年までの育児中の母親の請求による育児時間の承認

【問題 34】 疾病の第三次予防について、適切なのはどれか。

- 1 健康教育
- 2 健康診断
- 3 がん検診
- 4 リハビリテーション

【問題 35】 インフォームドコンセントの意味について、適切なのはどれか。

- 1 根拠に基づく医療の提供
- 2 法令遵守
- 3 守秘義務
- 4 患者への説明と同意

【問題 36】 次の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 WHO ——— 世界保健機関
- 2 QOL ——— 生活の質
- 3 IVH ——— 末梢静脈栄養
- 4 AED ——— 自動体外式除細動器

【問題 37】 ヘンダーソンがまとめた看護の基本的構成因子の 14 項目について、適切でないのはどれか。

- 1 患者の呼吸を助ける。
- 2 患者の休息と睡眠を助ける。
- 3 患者が体温を正常範囲内に保つよう援助する。
- 4 家族の生産的な活動あるいは職業を助ける。

【問題 38】 人間の成長発達段階の特徴について、適切でないのはどれか。

- 1 幼児期は、基本的生活習慣の形成期である。
- 2 学童期は、知識面の成長が著しい時期である。
- 3 青年期は、第 2 反抗期が出現する時期である。
- 4 老年期は、生活習慣病が好発する時期である。

【問題 39】 保健医療福祉施設について、誤っているのはどれか。

- 1 有床診療所は、19 床以下のベッドを有する。
- 2 訪問看護ステーションは、都道府県知事によって指定を受ける。
- 3 助産所は、10 床以下のベッドを有する。
- 4 精神保健福祉センターは、都道府県に設置されている。

【問題 40】 看護方式について、適切でないのはどれか。

- 1 受け持ち制（個別）看護方式は、1 人の看護師がその責任と判断のもとに、患者の入院から退院までの看護を一貫して受け持つ。
- 2 チームナースィングは、チームリーダーの指揮のもと、チームのメンバーが割りあてられた看護ケアを行う。
- 3 機能別看護方式は、患者－看護師関係が確立しにくく、一貫した看護が行いにくい。
- 4 混合型看護方式は、様々な看護方式の長所を活かしたやり方ができる。

【問題 41】感染予防について、正しいのはどれか。

- 1 標準予防策（スタンダードプリコーション）とは、特定の患者に対して講じる感染予防策である。
- 2 標準予防策では、汗を感染源として取り扱う。
- 3 感染予防対策の3原則は、病原体の除去、感染経路の遮断、免疫力（抵抗力）の増強である。
- 4 速乾式すり込み式消毒法は、全ての病原体を除去できる。

【問題 42】身長と体重による栄養状態評価について、正しいのはどれか。

- 1 体格指数（BMI）は、体重(kg)／身長(m)で求められる。
- 2 体格指数（BMI）が26は、標準である。
- 3 カウプ指数は、乳幼児期に用いる。
- 4 ローレル指数が130は、肥満である。

【問題 43】呼吸の観察・測定について、適切でないのはどれか。

- 1 呼吸数を測定していることを、対象者に意識させる。
- 2 胸郭^{きょうかく}や腹壁の運動を観察する。
- 3 成人で1分間に12回以下の場合は、徐呼吸である。
- 4 1分間の呼吸数および性状、随伴症状を記録する。

【問題 44】体温について、誤っているのはどれか。

- 1 高体温には、発熱とうつ熱がある。
- 2 新生児の体温は、成人よりも低い。
- 3 運動によって変化する。
- 4 成人女性には、月経周期に伴う体温変動がある。

【問題 45】血圧の変動について、誤っているのはどれか。

- 1 収縮期血圧は、立位<座位<臥位^{が い}の順に高くなる。
- 2 激しい運動を行うと、血圧は上昇する。
- 3 食直後は、血圧が低下する。
- 4 精神的緊張や興奮により、血圧が変動する。

【問題 46】意識障害の分類であるジャパン・コーマ・スケール（JCS）について、誤っているのはどれか。

- 1 I－1 は、覚醒している状態で、意識は清明である。
- 2 I－3 は、覚醒している状態だが、自分の名前・生年月日が言えない。
- 3 II－30 は、刺激すると覚醒する状態で、呼びかけを繰り返すとかろうじて開眼する状態である。
- 4 III－100 は、刺激をしても覚醒しない状態で、痛み刺激に対し、払いのける動作をする。

【問題 47】輸血用血液製剤について、誤っているのはどれか。

- 1 血小板製剤の保存温度は、20～24℃である。
- 2 赤血球製剤の保存温度は、2～6℃である。
- 3 全血製剤の有効期間は、採血後 21 日間である。
- 4 新鮮凍結血漿の有効期間は、採血後 6 ヶ月間である。

【問題 48】筋肉注射で使用する注射針について、正しいのはどれか。

- 1 25G
- 2 23G
- 3 19G
- 4 18G

【問題 49】次の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 皮内注射 —— 前腕内側に実施されることが多い。
- 2 皮下注射 —— 注射針は、45 度の角度で穿刺する。
- 3 筋肉注射 —— 注射後は、マッサージが必要なことが多い。
- 4 静脈注射 —— 血液の逆流を確認してから薬液を注入する。

【問題 50】褥瘡^{じよくそう}の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 褥瘡^{じよくそう}予防のため、体圧を分散する用具を活用する。
- 2 寝衣^{しんい}やリネン類のしわを除去する。
- 3 乾燥させるため、清拭^{せいしき}はしない。
- 4 浸出液^{しんしゅつえき}が多い場合、ドレッシング材を使用する。

【問題 51】^{はいよう}廃用症候群にみられる症状について、誤っているのはどれか。

- 1 起立性低血圧
- 2 骨萎縮
- 3 筋萎縮
- 4 下痢

【問題 52】便秘の分類と原因の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 器質性便秘 _____ ^{せきずい}脊髄損傷
- 2 弛緩性便秘 _____ 運動不足
- 3 けいれん性便秘 _____ ^{しゅよう}腫瘍
- 4 直腸性便秘 _____ 排便の意識的抑制

【問題 53】便秘のある患者への援助について、適切でないのはどれか。

- 1 毎日決まった時間にトイレに行くよう指導する。
- 2 適度な運動を促す。
- 3 十分な水分と食物繊維^{しよもつせんい}が多い食品をとるよう指導する。
- 4 腰背部^{れいあんぽう}の冷罨法を行う。

【問題 54】^{かんちょう}浣腸の種類と目的について、誤っているのはどれか。

- 1 ^{さいげかんちょう}催下^{かんちょう}浣腸（^{ぜんどう}排便^{かんちょう}浣腸）は、腸の蠕動運動を起こし、排便を促す。
- 2 ^{かんちょう}バリウム^{しつぺい}浣腸は、疾病の診断のために放射線検査で使用する。
- 3 ^{くふうかんちょう}駆風^{かんちょう}浣腸は、ショック状態にある患者を興奮・覚醒させる。
- 4 ^{かんわかんちょう}緩和^{かんちょう}浣腸は、薬剤の注入により腸粘膜の炎症をおさえる。

【問題 55】^{かんちょう}グリセリン^{かんちょう}浣腸実施時の注意点について、適切でないのはどれか。

- 1 緊張をやわらげる為、口呼吸を行うよう説明する。
- 2 ^{かんちょう}浣腸液の温度は、37℃が適している。
- 3 ^{かんちょう}浣腸後、便意があっても3～5分は排便を我慢するよう説明する。
- 4 ^{かんちょう}浣腸時の体位は、^{そくがい}左側臥位が適している。

【問題 56】蓄尿検査について、適切でないのはどれか。

- 1 24 時間にわたり、すべての尿をためる。
- 2 蓄尿開始時刻の排尿から、容器にためる。
- 3 蓄尿を採取する際には、よく攪拌^{かくはん}する。
- 4 蓄尿した総量を記載して、検査室へ提出する。

【問題 57】導尿時の注意点について、適切でないのはどれか。

- 1 ベッドは、スクリーンやカーテンで完全に囲う。
- 2 使用物品は、滅菌したものをを用い、無菌操作で行う。
- 3 男性の導尿の場合、カテーテルは約 25 cm 挿入する。
- 4 女性の導尿の場合、カテーテルは約 4 ～ 6 cm 挿入する。

【問題 58】清拭^{せいしき}について、適切でないのはどれか。

- 1 室温は 22～24℃程度にし、すきま風を防ぐ。
- 2 湯は、40℃未満の温度を用いる。
- 3 背部^{せいしき}の清拭後、背部全体をマッサージする。
- 4 拭き終わった直後に、タオルで水分を取り除く。

【問題 59】座薬挿入の援助について、適切でないのはどれか。

- 1 看護師が挿入する場合の体位は、腹臥位^{がい}とする。
- 2 座薬は、挿入するまで直接手で持たない。
- 3 肛門から、約 3 ～ 4 cm 挿入する。
- 4 挿入後は、約 1 分間肛門部を押さえておく。

【問題 60】冷罨法^{れいあんぼう}について、適切でないのはどれか。

- 1 疼痛^{とうつう}を緩和^{かんわ}させる効果がある。
- 2 氷枕^{ひょうちん}の 1 / 2 ～ 2 / 3 に氷を入れる。
- 3 氷枕^{ひょうちん}には、氷の間をうめる程度に水を入れる。
- 4 氷枕^{ひょうちん}の中の空気はぬかずに、留め金で止める。

【問題 61】^{ふくくうせん し}腹腔穿刺について、適切でないのはどれか。

- 1 ^{ぼうこう}膀胱を傷つけないように、実施前には排尿をすませる。
- 2 ^{せん し}穿刺時の体位は、^{ぎょう が い}仰臥位とする。
- 3 ^{せん し}穿刺部位は、モンロー・リヒター線上とする。
- 4 急激な腹圧低下により、ショックを起こすことがある。

【問題 62】酸素吸入について、適切でないのはどれか。

- 1 酸素吸入中は、火気を近づけない。
- 2 酸素テント法は、テントのすそをマットレスに挟み込む。
- 3 酸素マスク使用時は、装着部位の皮膚のケアを行う。
- 4 酸素ボンベの栓は、右回しで開ける。

【問題 63】食事介助について、適切でないのはどれか。

- 1 ^{ま ひ}麻痺がある場合、健側から食事を入れる。
- 2 スプーンを使用する時は、上方から口へ運ぶ。
- 3 食事を口に運ぶ場合、その都度^{えんげ}嚥下されていることを確認する。
- 4 ^{たんざい}端座位または直立座位、30 度挙上した体位を選択する。

【問題 64】呼吸困難のある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 便秘に傾かないよう排便コントロールを行う。
- 2 患者の好む体位を工夫する。
- 3 低栄養の食物の摂取をすすめる。
- 4 ^{こうくう}口腔内の清潔をはかり、気道からの感染を防ぐ。

【問題 65】リハビリテーションについて、適切でないのはどれか。

- 1 回復期には、積極的にリハビリテーションが行われる。
- 2 ADL（日常生活動作）の自立を目指して行われる。
- 3 医師・看護師・理学療法士・作業療法士などのチームで行われる。
- 4 障害受容に対する支援よりも身体機能に対して援助する。

【問題 66】輸液療法中の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 点滴の滴下速度は、体位などにより変化するので、速度が変わってもそのままでよい。
- 2 三方活栓のコックが、正しい位置にあるかを確認する。
- 3 アレルギー性副作用（アレルギー反応）の症状を観察する。
- 4 患者の体動を制限しないように、固定の工夫をする。

【問題 67】心臓マッサージについて、適切でないのはどれか。

- 1 胸骨圧迫と開胸式心マッサージがある。
- 2 脳障害を残さないためには、心停止後 3 分以内に胸骨圧迫を行う。
- 3 胸骨が 2 cm 下がるぐらいの強さで圧迫する。
- 4 ベッドでは、背部に板を入れて行う。

【問題 68】クリニカルパスについて、適切でないのはどれか。

- 1 患者に、個別的な治療が提供できる。
- 2 医療者用と患者用がある。
- 3 入院期間の短縮につながる。
- 4 正常に経過する場合の、標準的なスケジュールである。

【問題 69】ショックの徴候について、誤っているのはどれか。

- 1 血圧上昇
- 2 頻脈
- 3 呼吸^{そくはく}促迫
- 4 四肢^{しし}冷感

【問題 70】ショック状態の患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 全身の保温に努める。
- 2 必要に応じて、輸液・輸血の管理を行う。
- 3 体位は、水平仰臥位とし、下肢は^{ぎょうがい}挙上しないのが原則である。
- 4 不安感が強い場合、精神的安定をはかる。

【問題 71】 排尿障害について、誤っているのはどれか。

- 1 無尿とは、1 日の尿量が 200 ml 以下の場合をいう。
- 2 腹圧性尿失禁とは、急な腹圧が加わった時に尿をもらすことである。
- 3 切迫性尿失禁とは、強い尿意のため抑制できず尿をもらすことである。
- 4 完全尿閉とは、膀胱内の尿を全く排出できない状態である。

【問題 72】 放射線療法を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 放射線治療の効果や副作用について、医師と相談して十分に説明しておく必要がある。
- 2 皮膚にインクで記された照射部位のマークは、照射後毎回消す。
- 3 高たんぱく・高カロリー食の摂取をすすめる。
- 4 口腔内の清潔保持に努める。

【問題 73】 黄疸のある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 安静臥床を促す。
- 2 低たんぱく食を提供する。
- 3 掻爬による皮膚の損傷を予防する。
- 4 便秘を予防する援助を行う。

【問題 74】 出血傾向のある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 血圧の低下に注意する。
- 2 転倒や打撲を予防する。
- 3 硬い歯ブラシを使うよう説明する。
- 4 血圧測定の際は、必要以上の加圧をしない。

【問題 75】 浮腫のある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 マッサージを行い、局所の循環を促す。
- 2 塩分は制限しなくてもよいことを説明する。
- 3 衣類や寝具による圧迫を避ける。
- 4 感染予防の必要性について説明する。

【問題 76】手術室の看護師の役割について、適切でないのはどれか。

- 1 手術中の処置や看護が適切に行えるように術前訪問を行う。
- 2 手術室看護師は、直接介助と間接介助に分けられる。
- 3 直接介助看護師は、手術室内の環境の調整を行う。
- 4 術後は、病棟看護師に引き継ぎを行う。

【問題 77】慢性閉塞性肺疾患（COPD）について、誤っているのはどれか。

- 1 病期は、肺活量によって分類される。
- 2 危険因子としては、喫煙がある。
- 3 症状としては、慢性の咳と痰、労作時の呼吸困難がある。
- 4 最重症（Ⅳ期）は、在宅酸素療法（HOT）の適応である。

【問題 78】心不全の身体所見について、誤っているのはどれか。

- 1 徐脈
- 2 Ⅲ音の聴取
- 3 胸水の貯留
- 4 肺湿性ラ音

【問題 79】病態と検査値の異常の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 胃潰瘍 ——— 血中ALT(GPT)上昇
- 2 急性肝炎 ——— 血中アミラーゼ上昇
- 3 肝細胞がん —— 血中AFP上昇
- 4 肝硬変 ——— 血小板数増加

【問題 80】糖尿病の慢性合併症について、誤っているのはどれか。

- 1 網膜症
- 2 心筋梗塞
- 3 腎症
- 4 肺気腫

【問題 81】脳血管障害について、誤っているのはどれか。

- 1 脳血栓は、アテローム硬化が原因で起こることが多い。
- 2 脳塞栓^{そくせん}は、心室細動が原因で起こることが多い。
- 3 クモ膜下出血は、脳動脈瘤破裂が原因で起こることが多い。
- 4 脳内出血は、高血圧が危険因子として重要である。

【問題 82】気管支喘息患者の生活指導について、適切でないのはどれか。

- 1 運動の禁止
- 2 上気道感染の予防
- 3 適切な気温と湿度の保持
- 4 アレルゲンの除去

【問題 83】二次性高血圧の原因について、誤っているのはどれか。

- 1 甲状腺機能低下症
- 2 クッシング症候群
- 3 原発性アルドステロン症
- 4 褐色細胞腫

【問題 84】胃がんの治療について、誤っているのはどれか。

- 1 内視鏡^{ないしきょう}的粘膜切除術（EMR）
- 2 内視鏡^{ないしきょう}的粘膜下層剥離術^{はくり}（ESD）
- 3 化学療法
- 4 H₂受容体拮抗薬^{きつこう}投与

【問題 85】胃切除後の再建について、誤っているのはどれか。

- 1 ダブルトラクト法
- 2 ビルロートⅡ法
- 3 ルーY法
- 4 メッシュプラグ法

【問題 86】肺がんの代表的な組織型について、誤っているのはどれか。

- 1 移行上皮がん
- 2 扁平^{へんぺい}上皮がん
- 3 腺^{せん}がん
- 4 小細胞がん

【問題 87】肝がんについて、誤っているのはどれか。

- 1 A型肝炎ウイルスとの関連が深い。
- 2 原発性肝がんは、肝細胞がんと胆管細胞がんに分類される。
- 3 MR I は診断に用いられる。
- 4 ラジオ波^{しょうしゃく} 焼 灼 療法(R F A)は治療に用いられる。

【問題 88】透析療法について、誤っているのはどれか。

- 1 腹膜透析法 (PD) は、腹膜を透析膜として利用する。
- 2 持続的携帯型腹膜透析法 (CAPD) は、入院管理を要する。
- 3 血液透析法 (HD) は、透析液をダイアライザーに灌^{かんりゅう} 流 させる。
- 4 内シャントは、血液透析時のブラッド(バスキュラー)アクセスとして造設される。

【問題 89】大腸がんについて、誤っているのはどれか。

- 1 下行結^{かこうけつちょう} 腸 がんでは、イレウス症状があらわれやすい。
- 2 直腸がんやS状結^{けつちょう} 腸 がんの頻度は低い。
- 3 早期がんの治療では、内視鏡^{ないしきょう} 的ポリペクトミーが行われる。
- 4 腹腔鏡^{ふくくうきょう} 下手術が導入されている。

【問題 90】機械的イレウスについて、誤っているのはどれか。

- 1 腹痛・嘔吐^{おうと}をみとめる。
- 2 腹部レントゲンで鏡面像(ニボー)をみとめる。
- 3 保存的治療では、胃管やイレウス管を挿入する。
- 4 絞^{こうやくせい} 扼性イレウスでは、保存的治療を優先する。

【問題 91】 歯と口腔^{こうくう}の疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 齲蝕^{うしょく}（う蝕^{しょく}）と歯周病は、歯科領域の二大疾患と呼ばれる。
- 2 歯肉炎は、歯周炎よりも重篤な状態である。
- 3 歯周治療は、プラーク^{しこう}（歯垢）の除去が大切である。
- 4 アフタ性口内炎は、胃腸疾患や過労に関連して出現する。

【問題 92】 糖尿病患者のフットケアについて、適切でないのはどれか。

- 1 深爪にならないように切る。
- 2 足に合った靴を選ぶ。
- 3 足はていねいに洗い、清潔な状態を保つ。
- 4 鶏眼^{けいがん}（ウオノメ）は、こまめに自分で処置する。

【問題 93】 骨髄穿刺^{こつずいせん し}を受ける患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 患者の不安が増強するため、検査方法の説明は控える。
- 2 局所麻酔を行うため、痛みはないことを説明する。
- 3 検査終了後は、穿刺部位を圧迫固定して止血する。
- 4 検査終了 4 時間後には、入浴してもよいことを説明する。

【問題 94】 腎・泌尿器疾患患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 急性糸球体腎炎患者の食事は、塩分摂取を制限する。
- 2 尿路結石患者には、1 日 1000 ml 程度の飲水を説明する。
- 3 慢性腎不全患者には、高たんぱく食とする。
- 4 前立腺肥大症の患者には、飲水制限をする。

【問題 95】 パーキンソン病患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 関節痛の有無や程度を観察する。
- 2 決められた時間に内服するように説明する。
- 3 介助者は、ゆっくりと見守る姿勢でかかわる。
- 4 すくみ足に対して、転倒を予防する。

【問題 96】耳鼻咽喉疾患患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 メニエール病患者には、日光が直接あたる部屋で過ごすように説明する。
- 2 扁桃炎患者には、含嗽^{へんとう}をすすめる。
- 3 アレルギー性鼻炎患者には、マスクの使用は効果的ではない。
- 4 急性中耳炎患者に、運動制限は必要ない。

【問題 97】関節リウマチ患者への指導内容について、適切でないのはどれか。

- 1 関節症状の変化に気をつける。
- 2 副腎皮質ステロイド剤を服用する時は、副作用に注意する。
- 3 痛みがないときのみ機能訓練をする。
- 4 ストレスがかからない生活をする。

【問題 98】甲状腺機能亢進症^{こうしん}患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 発汗が多いため皮膚の清潔を保つ。
- 2 ストレス解消のため運動をすすめる。
- 3 眼球突出などの変化に対して、精神的ケアを行う。
- 4 甲状腺クリーゼ予防のため、感染症にかからないよう説明する。

【問題 99】心筋梗塞^{こうそく}後の患者の生活指導について、適切なのはどれか。

- 1 自覚症状がなければ、長時間運動をしてもよい。
- 2 食事内容や社会復帰後の生活スタイルを調整する。
- 3 体重増加は気にしなくてもよい。
- 4 抗凝固剤は、症状がある時に服用をする。

【問題 100】乳房の手術を受ける患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 入院から手術までの期間が短いので、外来からの情報提供が重要である。
- 2 患者が不安を表出したときのみ共感的に関わる。
- 3 リンパ節郭清後の日常生活については、特に注意する事項はないことを説明する。
- 4 退院後の受診は、異常が生じたときのみでよいことを説明する。

【問題 101】慢性呼吸不全における酸素療法について、適切でないのはどれか。

- 1 酸素流量の確認を行う。
- 2 適応基準は、動脈血酸素分圧（ $P a O_2$ ）が 60 mm Hg（T o r r）以下である。
- 3 高濃度の酸素投与から開始する。
- 4 副作用として、 CO_2 ナルコーシスがある。

【問題 102】肝硬変患者の症状について、誤っているのはどれか。

- 1 食道 静 脈 瘤
じょうみやくりゅう
- 2 浮腫
ふしゅ
- 3 アルブミン値の上昇
- 4 高アンモニア血症

【問題 103】胃潰瘍のある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 吐血とけつがあっても、食事摂取は可能であることを説明する。
- 2 吐血時とけつは、床上安静を保つ。
- 3 ストレスをためないように、日常生活の指導をする。
- 4 再発することがあるので、治療の継続を説明する。

【問題 104】耳鼻咽喉疾患患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 耳痛が激しい場合は、温罨法あんぼうを行う。
- 2 反回神経麻痺まひのある場合は、食事のむせこみや誤飲ごいんに注意する。
- 3 手術により顔貌がんぼうが損なわれることがあり、心理的な苦痛への支援が必要である。
- 4 鼻閉びへいの際は、口腔内こうくうの清潔を保つよう説明する。

【問題 105】女性生殖器疾患手術を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 女性性の喪失感などの不安を生じることが多いので、心理的な援助が重要である。
- 2 手術直後は、合併症予防のため体位変換を行う。
- 3 尿道留置カテーテル抜去後は、排尿障害に注意する。
- 4 退院後の性交は制限がないので、指導の必要はない。

【問題 106】ギプス固定患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 ギプス固定前は、清拭^{せいしき}は実施しない。
- 2 循環障害・神経障害・褥瘡^{じよくそう}発生に注意する。
- 3 運動訓練を積極的に行うよう指導する。
- 4 腫脹^{しゅちよう}を防ぐため、患肢は挙上（高举）する。

【問題 107】深部静脈血栓症^{けっせん}について、適切でないのはどれか。

- 1 症状は、局所の腫脹^{しゅちよう}・疼痛^{とうつう}である。
- 2 肺塞栓^{そくせん}になれば、重篤な状態に至ることがある。
- 3 整形外科領域の手術後には発生しにくい。
- 4 フットポンプ（エアマッサージ機）を使用して、予防する。

【問題 108】開頭手術を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 術前の意識レベルの観察は、継続的に行う。
- 2 術前は、浣腸^{かんちよう}を行い、排便を促す。
- 3 術後の血圧管理は重要である。
- 4 ドレーン挿入中は、ドレーンの閉塞^{へいそく}や感染に注意する。

【問題 109】人工肛門造設術を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 ボディイメージの変化を受容できるよう支援する。
- 2 ストーマの位置は、家族がケアしやすい場所を選択する。
- 3 術後は、便通の調整を図る。
- 4 永久的人工肛門造設患者の場合は、社会福祉制度の説明を行う。

【問題 110】術前患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 術前オリエンテーションでは、術後の経過についても説明する。
- 2 手術が決定したら、禁煙を行うように説明する。
- 3 食事は、手術の 24 時間前から中止する。
- 4 患者の思いを表現できるように援助する。

【問題 111】気管切開患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 気管切開は、上気道^{きょうさく}狭窄など呼吸障害がある場合に行われる。
- 2 気管切開直後に発語ができる。
- 3 気管切開直後の出血のリスクは低い。
- 4 ^{かくたん}喀痰の吸引は、無菌操作でなくても良い。

【問題 112】心臓の手術を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 術後は、創痛やドレーンの挿入により呼吸が抑制されるので、術前に呼吸訓練を指導する。
- 2 術後は、モニターやドレーンが挿入されるが体位変換は自由に行える。
- 3 術後は、I C Uや回復室に入室して、全身管理を行う。
- 4 生命に危険を伴うため、患者や家族の不安が強いことを理解して関わる。

【問題 113】日本の高齢化について、誤っているのはどれか。

- 1 65 歳以上の人口割合は、2015 年（平成 27 年）には 40%を超えると推計されている。
- 2 急速な高齢化の要因として、少子化、晩婚化、未婚化（非婚化）がある。
- 3 65 歳以上の約半数が有訴者である。
- 4 欧米諸国と比べ急速に進んでいる。

【問題 114】医療、福祉の法制度について、適切でないのはどれか。

- 1 2008 年（平成 20 年）に「高齢者の医療の確保に関する法律」が施行された。
- 2 介護保険給付は、要介護者と要支援者が対象である。
- 3 後期高齢者は、65 歳以上のことをいう。
- 4 介護療養型医療施設は、療養病床などを有する病院または診療所である。

【問題 115】高齢者の身体的変化について、正しいのはどれか。

- 1 排尿機能の低下
- 2 血管壁の弾力性の増加
- 3 神経伝達速度の上昇
- 4 骨重量の増加

【問題 116】訪問看護における看護師の役割について、適切でないのはどれか。

- 1 じょくそう 褥瘡の処置
- 2 薬の処方
- 3 家族への援助
- 4 ターミナルケア

【問題 117】高齢者に発現しやすい心理的・精神的機能の変化について、適切でないのはどれか。

- 1 抑うつ性の増加
- 2 心氣的傾向の増加
- 3 記銘力の維持
- 4 計算能力の低下

【問題 118】介護保険制度における看護師の役割について、適切でないのはどれか。

- 1 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）での役割には、終末期の対応がある。
- 2 在宅看護には、各職種間の連携が重要である。
- 3 看護師が在宅介護におけるケアプランを作成する。
- 4 認知症対応型共同生活介護では、少人数の利用者が、家庭に近い生活を送ることを支援する。

【問題 119】高齢者の皮膚や粘膜の特徴について、誤っているのはどれか。

- 1 皮膚感覚の感受性は低下する。
- 2 つめ 爪は薄くなる。
- 3 膺の自浄作用は低下する。
- 4 そうようかん 掻痒感を起こしやすい。

【問題 120】高齢者の摂食過程における特徴について、誤っているのはどれか。

- 1 唾液分泌の増加
- 2 そしゃく 咀嚼力の低下
- 3 えんげ 嚥下反射の低下
- 4 消化吸収機能の低下

【問題 121】高齢者とのコミュニケーションについて、適切なのはどれか。

- 1 個別性は少ないので、同じ対応で良い。
- 2 高音域の声で話すと聞き取りやすい。
- 3 一人の個人として接するように心がける。
- 4 視線や手の動きなど、言葉以外の方法は有用でない。

【問題 122】高齢者への援助について、適切でないのはどれか。

- 1 自立に向けた援助をする。
- 2 部分だけでなく全身の観察が必要である。
- 3 安全や安楽を確認しながら援助を行う。
- 4 環境の変化に対する配慮は不要である。

【問題 123】認知症における周辺症状について、誤っているのはどれか。

- 1 暴力
- 2 日常生活援助（介護）拒否
- 3 睡眠障害
- 4 失語

【問題 124】認知症高齢者の対応について、適切でないのはどれか。

- 1 行動を制限しないで見守るか、一緒に行動する。
- 2 一つのことに固執しているときは、上手に話題を変える。
- 3 話を傾聴する。
- 4 異食は、空腹感によるものなので、側に食べ物を置いておく。

【問題 125】高齢者の^{だいたいこつ}大腿骨頸部骨折と看護について、適切でないのはどれか。

- 1 原因は、転倒が大部分を占める。
- 2 術前の患肢は、内旋位になりやすい。
- 3 ^{ひこつ}腓骨神経麻痺^{まひ}の観察が必要である。
- 4 精神的ケアが大切である。

【問題 126】在宅での高齢者のケアについて、適切なのはどれか。

- 1 日常のケアは、看護師が中心に行う。
- 2 療養者の自己決定を尊重する。
- 3 転倒予防のため、夜間も日中と同じ屋内照度を保つ。
- 4 身体に負担をかけないよう運動は控える。

【問題 127】わが国の母子保健の概要について、誤っているのはどれか。

- 1 妊産婦死亡率は、戦後減少した。
- 2 少子化対策の具体的実施計画として、「子ども・子育てビジョン」が 2010 年（平成 22 年）に策定された。
- 3 周産期死亡率は、戦後高率であったが徐々に低下した。
- 4 人工妊娠中絶は、近年、増加している。

【問題 128】更年期女性の特徴について、誤っているのはどれか。

- 1 体重減少
- 2 孤独感
- 3 卵巣機能の低下
- 4 自律神経失調症の出現

【問題 129】妊婦健康診査時の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 妊娠 24 週以後は、4 週間に 1 回受診する。
- 2 問診は、プライバシーに配慮して行う。
- 3 尿検査の必要性を説明する。
- 4 腹部の触診は、レオポルド触診法による。

【問題 130】妊娠高血圧症候群患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 血圧、尿たんぱく、体重、浮腫^{ふしゅ}の有無を観察する。
- 2 食事療法は、低たんぱく食が基本である。
- 3 胎児心音の観察を注意深く行う。
- 4 重症例では、刺激を排除した環境にする。

【問題 131】分娩経過について、誤っているのはどれか。

- 1 分娩の開始とは、陣痛が 10 分おきに規則正しく起こるか、1 時間に 6 回以上起こる状態をいう。
- 2 子宮口全開大とは、子宮口が 10 cm に開大した状態をいう。
- 3 排臨とは、胎児の先進部が陰裂間に常に見えている状態をいう。
- 4 分娩第 3 期は、胎児娩出後から胎盤の娩出までをいう。

【問題 132】新生児の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 母乳栄養は、授乳間隔を 4 時間以上あけるようにする。
- 2 臍部は、乾燥した清潔な状態を保つ。
- 3 新生児室の室温は 24～26℃、湿度は 50～60%を保つ。
- 4 新生児の眼の感染を予防するために、抗生物質の点眼を行う。

【問題 133】乳幼児の運動機能の発達について、誤っているのはどれか。

- 1 3～4 ヶ月で、首がすわる。
- 2 9 ヶ月で、つかまり立ちができる。
- 3 2 歳で、ケンケンができる。
- 4 5 歳で、スキップができる。

【問題 134】小児の栄養について、適切でないのはどれか。

- 1 小児の栄養は、健康の維持のほか、成長・発達という要素がある。
- 2 離乳食は、生活リズムづくりの基礎となる。
- 3 幼児期の間食は、時間や回数を決めない方がよい。
- 4 生涯役立つ好ましい食習慣を身につける必要がある。

【問題 135】小児における予防接種について、適切でないのはどれか。

- 1 日本脳炎の予防接種は、定期接種である。
- 2 インフルエンザワクチンは、任意接種である。
- 3 風疹の予防接種は、1 期 2 期ともに 1 回ずつ接種する。
- 4 ポリオワクチンは、3 歳までを対象とする。

【問題 136】発熱している小児の看護について、適切なのはどれか。

- 1 脈拍、呼吸よりも体温測定を優先して観察する。
- 2 発汗が多い場合は、解熱してから清拭^{せいしき}する。
- 3 感染症が疑われる場合は、水分を制限する。
- 4 悪寒^{おかん}がみられる場合は、保温する。

【問題 137】次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 先天性心疾患は、大半が先天性奇形である。
- 2 心室中隔欠損症は、肺血流が増加する。
- 3 心房中隔欠損症は、乳児期に発見されることが多い。
- 4 ファロー四徴症では、チアノーゼを認める。

【問題 138】消化管閉塞（イレウス）について、誤っているのはどれか。

- 1 消化管の閉塞には、先天奇形^{まひ}の他、麻痺性イレウスがある。
- 2 先天性の疾患として、ヒルシュスプルング病がある。
- 3 腸重積症は、乳児期に多い。
- 4 腸重積症は、灰白色の便を認める。

【問題 139】心理的な防衛機制の組み合わせについて、適切なのはどれか。

- 1 代償（置き換え）—— 自分が他人に対してもっている感情を、他人が自分にもっていると思込むこと
- 2 逃避 —— 困難に直面して未熟な発達段階に戻ること
- 3 投影 —— もっともらしい理屈をつけて自分の失敗や欠点を正当化すること
- 4 同一化 —— 自分の好きな人やすぐれた人の性質をとりこむこと

【問題 140】ライフステージにおける精神保健の課題について、適切でないのはどれか。

- 1 乳児期における母親との愛着の形成は、以後の心身発達に影響する。
- 2 チック（t i c）は、児童期にみられることが多い。
- 3 思春期における摂食障害は、男性より女性の方が多い。
- 4 老年期は、燃え尽き症候群が多い。

【問題 141】精神科病院への入院形態として、「自傷他害のおそれのある患者に対し、都道府県知事

または指定都市の市長の権限で行われる入院」はどれか。

- 1 措置入院
- 2 応急入院
- 3 任意入院
- 4 医療保護入院

【問題 142】わが国の精神保健の歴史について、適切でないのはどれか。

- 1 「精神病者監護法」にて、私宅監置が合法的に認められていた。
- 2 「精神衛生法」により、精神障害者の医療及び保護に重点が置かれるようになった。
- 3 宇都宮病院事件をきっかけとして、「精神保健法」が成立した。
- 4 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」の改正により、身体・知的・精神の3障害の福祉サービスを一元化した。

【問題 143】意識障害について、誤っているのはどれか。

- 1 傾眠は、最も深い意識混濁の状態である。
- 2 ^{もう}せん妄では、幻覚がある。
- 3 もうろう状態は、不自然な言動がみられる。
- 4 コルサコフ症候群では、意識障害はない。

【問題 144】抗精神病薬（向精神薬）による副作用の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 パーキンソン症候群 —— 四肢の筋肉の硬直（筋強剛）
- 2 悪性症候群 ————— 血中C P K（C K）値上昇
- 3 アカシジア ————— 静止（静座）不能
- 4 遅発性ジスキネジア —— 口渇

【問題 145】^{こうはん}広汎性発達障害（PDD）の症状について、誤っているのはどれか。

- 1 対人関係の障害
- 2 こだわり
- 3 多動
- 4 コミュニケーションの障害

【問題 146】抑うつ状態の患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 落ち着いた雰囲気での患者の訴えを聞く。
- 2 早く元気になれるよう励ます。
- 3 回復過程にあっても慎重に見守る。
- 4 共感的態度で接する。

【問題 147】精神科病棟入院中の行動制限について、適切なのはどれか。

- 1 短時間の隔離は、看護師の判断で行える。
- 2 行動制限中の患者には、電話の自由は認められていない。
- 3 身体拘束では、二次的な身体障害が起こる危険性がある。
- 4 自ら保護室の使用を希望しても、入室を許可することはない。

【問題 148】アルコール関連障害の症状について、適切でないのはどれか。

- 1 嫉妬妄想がみられる。
- 2 舞踏運動がみられる。
- 3 離脱症状として振戦^{しんせん}せん妄がある。
- 4 障害がすすむと認知症を示す。

【問題 149】器質性精神障害の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 アルツハイマー病 ——— 記銘力障害
- 2 梅毒 ————— 進行麻痺^{まひ}
- 3 症状性精神病 ——— 神経症
- 4 てんかん ————— 精神運動発作

【問題 150】拒絶のある患者について、適切でないのはどれか。

- 1 信頼関係の構築をはかる。
- 2 妄想や幻想に支配されることがある。
- 3 薬をのまないこと（拒薬）がある。
- 4 食事をしないこと（拒食）がみられる患者には、速やかに静脈注射を開始する。